



社会福祉法人 京都障害者福祉センター

「来春採用内定者との懇談会」を開催しました！

11月22日(水)16時30分から「来春採用内定者との懇談会」をだいで学園 CAFÉ & SHOP「ふらっと」で開催しました。

これまで、採用内定者と先輩職員や役員との懇談会は、“歴史”ある洛南会館の会議室で地味～に実施していましたが、今回は内容を一新、閉店後の「ふらっと」をお借りし、だいで学園特製の軽食をいただきながらのざっくばらんな懇談会となりました。

来春の採用内定者4名(写真前列：小堀さん、園田さん、北さん ※塩谷さんは残念ながら体調不良のため欠席)と採用3年以内の若手職員3名(写真後列：武甕さん<あすなろ>、小野さん<山科授産>、中野さん<だいで学園>)、前田理事長、真下事務局長、谷口だいで学園長、本部の事務職員の浦山さん、小幡さんが参加しました。



今回の懇談会の趣旨は、

- ①内定者の不安や疑問を解決すること
- ②内定者に仕事のやりがいや大変さを正しく理解してもらうこと
- ③内定者や若手職員に横や縦のつながりを作ってもらおうこと です。

そのため、まずは内定者から様々な不安や疑問を出してもらい、それに対し同じ道を経験している若手職員から、具体的なアドバイスや自分なりの工夫、リアルな感想などを話してもらいました。



17時30分からは、“若干”のアルコールも解禁、席替えもしながら個別に質問やアドバイスをいただきました。

内定者の質問等を一通りお聞きした後は、理事長以下全員が参加して“特製さいころ”に合わせて「ここの話」「ひょっとして私だけ…の話」などを各自披露してもらい、「ここの話…高校時代は金髪でした！」

「ひょっとして私だけ…セレッソ大阪下部組織の女子サッカー部に所属していて2回優勝しました！」など意外な一面を知ることができました。(前田理事長の「ひょっとして私だけ…の話」はここでは控えます...)



内定者同士のつながりだけでなく、若手職員3名も現在ではそれぞれ同期がいないという中で、斜め？のつながりも作れたのではないかと思います。

内定者の皆さん、来年4月から同じ法人の仲間として、楽しく元気に長く活躍していただくことを期待しています。

(本部事務局 真下 清)

京都府民間社会福祉施設職員共済会 長期在会会員として7名が受賞

一般財団法人 京都府民間社会福祉施設職員共済会長期在会会員表彰式が、11月16日（木）ホテルオークラ京都で執り行われ、長年にわたる社会福祉事業への貢献に対して、当法人から7名の職員が共済会理事長から表彰を受けました。

◎ 30年表彰

- 小林 千里さん
（洛南障害者デイサービスセンター「あすなろ」）
永田 憲男さん
（ふしみ学園）
北川 貴啓さん
（生活サポートセンター「とらい」）
青山 有子さん
（山科障害者デイサービスセンター）



◎ 20年表彰

- 岡 美智代さん（伏見障害者デイサービスセンター）
八木 証さん（山科障害者デイサービスセンター）
小島 幸三さん（放課後等デイサービスセンター「すてーじ」）

京都市介護職員等永年勤続表彰として9名が受賞

京都市介護職員等永年勤続表彰式が、11月14日（火）京都市役所本庁舎で執り行われ、長年にわたり障害者支援や高齢者介護の職務に精励していることに対して、当法人から9名の職員が京都市長から表彰を受けました。

- 松浦 浩美さん（洛南身体障害者福祉会館）
勝木 純さん（洛南障害者授産所）
濱中 優希さん（いたはし学園）
田鍋 美雪さん（いたはし学園）
馬淵 勝久さん（だいが学園）
水田 章一さん（山科障害者授産所）
泉 広恵さん（生活支援センター「ほっと」）
高尾 多津子さん（生活支援センター「ほっと」）
新井 剛さん（生活支援センター「ほっと」）

御受賞誠におめでとうございます。
皆様の益々のご活躍を祈念いたします。



（本部事務局）

洛南エリアTOPICS【洛南障害者授産所】

洛陽児童館との卓球バレー交流会

10月16日に、お隣の洛陽児童館の子どもたちと卓球バレーの交流会を行いました。

当日は30名以上の子どもが施設見学と利用者さんから「自身の経験に基づいた障がい」のお話を聞いて頂いた後に、卓球バレーを一緒に行いました。隣にありながら知らない事ばかりで、興味津々にお話を聞いたり、卓球バレーも色々なポジションで参加したり、お手伝いをしたりなど、終始元気な声がいっぱいでした。休憩時間には作業していた利用者さんも様子を覗き来られるなど、良い交流の機会となりました。また、近隣の児童館や学校など地域との交流の機会が作れたらと思います。



(洛南障害者授産所：松井 崇)

株式会社 NABEL (ナル) 様からの寄贈

10月18日に取引先の株式会社ナベル様より洛南障害者授産所で使用する備品の寄贈(システムラック、高圧洗浄機、デジタル計数機)を賜り、その様子を10月25日(水)の京都新聞市民版ページに掲載頂きました。

株式会社ナベル様は主に鶏卵を取り扱う様々な機械(卵の選別から洗浄、様々な検査装置)を制作、国内だけでなく世界各国に提供されている南区の企業です。

授産所ではその部品となるベルトコンベアの組立や機械の取扱説明書の印刷等をさせて頂いています。特許で出た利益を地域に還元していくといった取り組みもされており、今回授産所にお声を掛けていただきました。株式会社ナベル様、ありがとうございました。

2015年より取引を開始し、今年で9年目。

授産所におられた先輩職員達が築きあげられた取引先との信頼関係を今後も損なうことなく継続していきたいと思えます。 →株式会社ナベルHP (<https://nabel.co.jp>)

授産所では2015年からナベルのプラスチック製ベルトコンベアの部品製造を受託し、利用者が組み立て作業などの仕事を担っている。

18日に授産所であった贈呈式で、ナベルの南部邦彦社長が「納期に合わせて作業をしてくださり、皆さんの支えがあって製品が作れ

鶏卵自動洗浄選別包装装置メーカー「ナベル(京都市南区)は、洛南障害者授産所(同区)に、利用者が業務で使用する高圧洗浄機や計数機など3点を寄贈した。

高圧洗浄機など3点寄贈

洛南障害者授産所に南区のメーカー



業務で使う高圧洗浄機や計数機を贈ったナベルの南部社長(左から3人目)ら
京都市南区・洛南障害者授産所

「ている」とあいさつ。長原一博所長は「継続して仕事を頂けるのは信頼関係あってこそ。今後もしっかりと頑張りたい」と応えた。(三鼓慎太郎)



(洛南障害者授産所：福島 正人)

洛南エリアTOPICS ②【洛南エリア研修委員会】

自分の事業所を より良くするために

11月17日(金)に洛南エリア研修会を開催しました。

今回は洛南エリアにプラスして、右京エリアのうずまさ学園と太秦障害者デイサービスセンターの職員にも参加頂き、合同として研修会を開催しました。参加者はなんと40名！

テーマは・・・

「エリア内のお互いを知ろう」+「自分の施設の良い所・より良くするためのアイデアを出そう！」です。



研修形態はグループワークが主体で、以下の流れで行いました。

- ①自己紹介・・・(1人2分・自分の事業所の良い所を中心に。)
- ②個人ワーク1・・・(3分・自事業所の改善したいと思う点を付箋に書く。)
- ③グループ内 共有時間・・・(10分・模造紙に付箋を貼りながらグループ内で共有。)
- ④個人ワーク2・・・(2分・改善するためのアイデアを付箋に書く。実現性は問わない!)
- ⑤グループ内 共有時間・・・(10分・改善したい点に対するアイデアを模造紙に張り出す。)
- ⑥全体共有・・・(グループ内1人を残し、後のメンバーは他のグループに移動し発表を聞く。)
※ポスターセッション的な形。
- ⑦元のグループに戻り元のグループ内で共有。
- ⑧全体発表・・・(感想等)

⑥の全体共有の時間では、様々なグループに移動して、発表を聞くという形でしたが、結果的に立食パーティー的な形(?)となり、行き来しながら流動的かつ立ち話的に、様々な意見交換を各々でアクティブに出来ていた様子でした。

「こんな考えもあるんや」とか「うちのグループではこういった意見が出てたわ」、「これっていいやん」等、言葉に出して自分の意見を言う、他者の意見に耳を傾けるという、この能動的な時間が個々の「気付き」に繋がっていき、主体的かつ良好な関係性の育み方を得る機会にもつながった研修会だったのではないかと感じています。



洛南エリア研修委員会では質の向上、人材育成の一環とし、このような「アクティブ・ラーニング」を主体とした研修会を今後も実施していきたいと考えています。

こういったやり方が効果的であるとか、こういう事をやってみたらどうかな、というご意見がありましたら、洛南エリア研修委員会までご連絡お願いします！

(中部障害者地域生活支援センター「らくなん」：大塚 秀樹)

伏見エリアTOPICS【いたはし学園】

「日帰りレクリエーション」を実施しました！

11月23日（木・祝）に日帰りレクリエーションで滋賀県にある琵琶湖博物館と三上神社に行ってきました！

琵琶湖博物館では琵琶湖に生息する魚を見て楽しめる方や、琵琶湖の歴史を学ばれる方など、久しぶりの遠出レクを楽しんでおられました。昼食は事前に予約をしていたご飯屋さんで少し豪華な食事を摂り、その後三上神社を参拝しました。天候にも恵まれ、澄んだ空気の中お参りすることができました。

少し時間が空いたため三上神社の横にある三上山に途中まで登ってみようということになりました。しかし思っていた以上に険しい山道であったため断念しました。「山頂までいきたかった！」という声もありましたがまた機会があればリベンジしましょう！皆さんと山登り体験することができ楽しかったです！

近年、新型コロナウイルスの関係であまり遠出することができない状況がありましたが、久しぶりの遠出ができ、利用者の方も楽しんでおられた様子でした。次回も、皆さんの労をねぎらう意味を込めて楽しいレクリエーションを企画していきたいと思えます。



秋のイベント販売に参加してきました！

イベント活動も例年のように行われるようになり、パン工房くーぺもフル稼働で頑張っています！11/3（金・祝）は「洛南地域ふれあい秋祭り」、11/5（日）「やったね秋まつり」、11/15（水）は国際ソロプチミスト京都様よりご依頼を頂き、ホテルオークラにて販売をさせていただきました。どの販売もパンや焼き菓子が概ね完売でした！これからも多くのイベント販売に参加させていただきます、元気あるいたはし学園を目指していきたいと思えます。

この場をお借りして販売の機会を下さいました、皆様に御礼申し上げます。

（いたはし学園：長濱 琴乃）

山科エリアTOPICS 【デイスポット「楽」】

ハロウィンイベント を 開催しました。

10月31日はハロウィンということで、デイスポット楽では10月30日にハロウィンイベントを開催しました。

午前に仮装&撮影タイム、ハロウィングेमをしました。利用者の皆さんそれぞれが、自由に仮装を楽しまれ、お気に入りの撮影スポットで写真撮影をしました。その後は、ハロウィングेमとしてミイラ作りゲームをしました。各チーム職員1名をミイラ役に抜擢し、新聞紙や雑紙などさまざまな紙を使ってミイラを作りました。各チームそれぞれ特色のあるミイラができあがり、大いに盛り上がりました。



午後からは滋賀短大の柚木先生に来ていただき、ハロウィンコンサートを開催しました。

秋やお化けにちなんだ曲をピアノで弾いてもらい、一緒に歌ったり、妖怪ウォッチのダンスを踊ったり、トーンチャイムという楽器を弾いたりと盛りだくさんの内容でした。さらに柚木先生と楽の職員のピアノとギターのコラボレーションもありました。

今では一般的になったハロウィンを皆さん存分に楽しめました。「楽」では、次にクリスマス行事が待っています。どんなクリスマスになるか今から楽しみです。



(デイスポット「楽」：今井 涼香)

支援センターNEWS 【支援センターらくとう】

12月5日（金）『こども放課後フェア』を開催します

今回は、東部障害者地域自立支援協議会の部会の一つ、児童専門部会が実施するフェアのご案内です。

次のページに添付しているチラシの内容で、フェアを実施します。
対象者は、学齢期に関わるお子さんの保護者、関係機関です。
（東部圏域は・・・山科区、東山区・伏見区醍醐支所管内）

フェア開催の目的。

- ・放課後の子どもの居場所がどのくらい地域にあるかを知ってもらう。
- ・児童館も利用できることを知ってもらう。
- ・参加事業所が、保護者のニーズを直接聞くことで、事業所の役割を再認識する。

これまで南部圏域（伏見区（醍醐支所管内以外））でこども放課後フェアを実施されており、東部圏域でも実施してほしいという希望があり、今回初回実施の運びとなりました。

放課後等デイサービス利用に向けての相談依頼が毎年多くあり、保護者がそれぞれ事業所一覧から気になる放課後等デイサービスに連絡をして、見学をするような流れがあります。

事業所数が東部圏域だと令和5年現在で25カ所あります。フェアに行けば多くの事業所を知ることができるというのは保護者にとってはメリットとなり、事業所としては保護者のニーズを知ることができるという、お互いにとって良い面があるのではと期待しています。

法人からは、放課後等デイサービス「すてーじ」が参加し、児童専門部会の事務局として「らくとう」の相談員も参加します。

このような企画があるのだな…ということ、法人内外の皆さんにも知っていただき、平日で日中支援の体制を調整するのは難しいかもしれませんが、特に山科エリアの方にはチラッと見にきてもらえたら嬉しいです。

（東部障害者地域生活支援センター「らくとう」：山下 笑子）

～こどもの居場所・放課後の過ごし方を考える～

こども放課後フェア 2023

東山・山科・醍醐

日時

令和5年12月15日

10:00～12:00

場所

アスニー山科

山科区竹鼻竹ノ街道町92番地 ラクト山科C棟2階



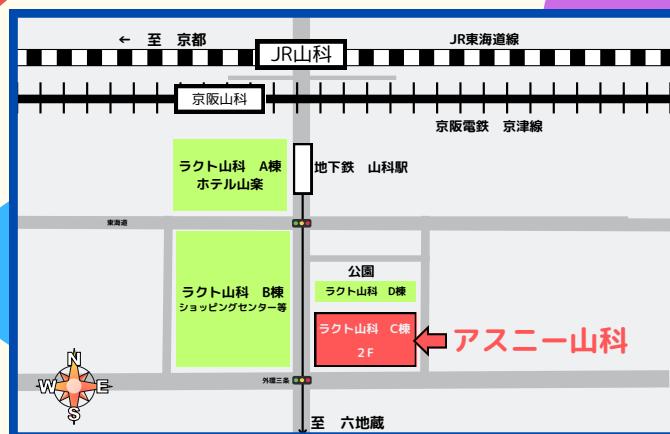
内容

10:00 開始

- ① 放課後の過ごし方について
- ② 児童館や放課後等デイサービスからの説明

12:00 閉会

↓地図↓



東山・山科・醍醐で子どもの支援を行っている放課後児童クラブ（児童館連盟）、放課後等デイサービスが集まり、各ブースでの事業所の活動内容や特色についての紹介をします。事業所について知り、子どもの居場所、放課後の過ごし方について考えてみませんか？

お問い合わせ先

京都市東部障害者地域生活支援センター「らくとう」（担当：水上、山下）

TEL：075-591-8856 FAX：075-502-0084

主催 京都市東部障害者地域自立支援協議会 児童専門部会